

2023 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日から

2024 年 3 月 31 日まで

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

公益財団法人 会 田 病 院

2023 年度 事業報告書

はじめに

2023 年 5 月 8 日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が感染症法上の分類で 2 類から 5 類に移行となり、各種の制限が徐々に緩和されているが、いまだ COVID-19 のクラスターは発生し、社会に様々な影響を与えている。また、気象庁の発表によると、2023 年の夏（6～8 月）の日本の平均気温が、1898 年の統計開始以降で最も高く、最高気温が 35 度以上の「猛暑日」の日数は全国 38 地点で最多となった。猛暑は農作物にも影響を与えるが、高騰し続ける電気使用量にも大きな影響をもたらした。

2024 年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が行われ、診療報酬本体部分に関してはプラス改定となっているが、薬価が引下げられるため全体の改定率はマイナスとなる。また、プラス改定部分の大半は医療従事者の処遇改善に充てることとされているため、人件費率の増加が懸念される。さらに働き方改革・第 8 次医療計画・第 4 期医療適正化計画などが一斉に動き出す。

このように日本の医療業界を取り巻く現状は依然として厳しいものであるが、2023 年度当法人の当期正味財産増減額は、252 百万円の利益を確保することができた。人材確保や物価高騰等厳しい状況下であったものの職員一人一人が目標達成に向け日々取り組み、クラスター発生も最小限に抑え、途切れることなく地域医療を提供できたことは、2023 年度の大きな成果であったと総括する。

いまだ終わらない COVID-19 との戦い、急激に進行する物価高、明るい未来を見通すことができずにいる中、これからも地域から必要とされる病院として事業を継続していく所存である。

1. 定款に定める事業内容

- ① 救急医療及び地域に不可欠な医療を提供する事業
- ② がん治療等、高度先進医療を提供する事業
- ③ 胸部疾患に関する事業
- ④ 予防医療活動並びに健康増進を啓蒙する事業
- ⑤ 訪問診療・訪問看護を提供する事業
- ⑥ 通所リハビリテーション事業
- ⑦ 老人及び障害者等へ介護・療養の環境を提供する事業
- ⑧ 保健・医療・福祉に関わる専門職の資質向上を支援する事業
- ⑨ 医師及び看護師その他医療従事者の育成事業
- ⑩ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 職員に関する事項

○2024年3月31日現在の職員数は次の通りである。

・総職員数 343名

うち、

・常勤職員 276名（平均年齢41.1歳・平均勤続年数9.9年）

男性 82名（平均年齢40歳）

女性 194名（平均年齢41.6歳）

内訳 理事1名・医師11名・看護師74名・准看護師23名

介護支援専門員4名・介護福祉士32名・ヘルパー11名

看護助手2名・薬剤師6名・臨床検査技師7名

診療放射線技師5名・理学療法士23名・作業療法士13名

言語聴覚士4名・臨床工学技士6名・管理栄養士3名

医療ソーシャルワーカー1名・医療事務16名

医師事務作業補助者2名・一般事務25名

ボイラー技士1名・運転手2名・その他補助者4名

・非常勤職員 67名

男性 46名

女性 21名

内訳 理事1名・医師48名・看護師6名・准看護師1名

介護福祉士2名・ヘルパー2名・臨床検査技師1名

管理栄養士1名・一般事務1名・ボイラー技士2名

運転手2名

3. 部門別事業報告

① 法人部門

定款に定める事業内容を念頭に『良質な医療を安全に提供できる病院づくりにつとめ、地域社会に貢献します』を基本理念として、目標達成に向けた取り組みを実施した。

2023年4月より西白河地方市町村会の協力のもと、自治医科大学と「西白河地方地域医療連携学寄附講座」を開設し、消化器外科医2名が常勤医師として派遣された。それに伴い、12月に県南保健所長、各市町村長及び近隣病院等を招いて「病院機能報告会」を開催した。

2023年11月には福島県による公益財団法人移行後3回目となる公益財団立入検査を受け、概ね良好と講評を得た。

人事関係では、職員の処遇改善及びモチベーション向上を目的に、ベースアップ及び物価対策一時金手当の支給を実施した。

また勤怠管理システム(ビーコン型)を導入し、時間管理の改善に取り組んだ。2024年4月より開始する医師の働き方改革に向けて白河労働基準監督署へ医師の宿日直許可を申請し10月に許可を得た。

② 病院部門

2023年5月、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が感染症法上の分類で2類から5類に移行となったが、病院としては発熱外来を継続実施し、面会等の制限を一部緩和しつつ、院内感染抑制に努めた。しかし、2023年7月、8月、2024年1月、2月、3月と院内クラスターが発生し、一部病床制限を実施したが、早期の制限解除に向けて可能な限りの体制構築を図った。

発熱外来の実績は次の通りである。年間実績、発熱外来受診者数4,484名(前年比-947名)、院内PCR検査995件(前年比-4,941件)、外注検査0件(前年比-106件)、合計995件(前年比-5,047件)、抗原検査は院内のみで4,155件(前年比+2,714件)、両検査合計5,150件(前年比-2,333件)を実施。陽性1,312件(陽性率25.4%)前年比-893件(陽性率-4.0%)であった。

県南保健事務所の立入検査が2023年10月16日に実施され、産業廃棄物処理項目で一部文書での指摘・指導事項はあったが、概ね良好の評価を頂いた。

職員の資質向上については、各委員会や各部署職員が医療の質の確保・改善、医療事故防止等へ意欲的に取り組み、24件の実績が報告された。

【外来部門】

外来患者数は、1日平均目標 247 名に対し、実績 260.3 名(前年比 105.6%)と目標を達成することができた。新患者数が前年比 1 日平均 105.7%と増加した影響が大きかった。

しかし、発熱外来での検査方法を PCR 検査から抗原検査に完全移行し、2023 年 10 月から COVID-19 に係る診療報酬の減額もあったため、外来稼働額は前年比-約 12 百万となった。

【入院部門】

入院患者数は 1 日平均目標 155 名に対し、実績 154.4 名(前年比 101.2%)と目標は達成することはできなかった。院内クラスターが発生した影響等もあり、目標達成できなかったが、1 日平均入院患者数前年比 101.2%、新入院患者数前年比 115.2%と増加したため、入院稼働額では前年比+約 7 百万となった。

病院（外来/入院）

	2023 年度	2022 年度	前年比
外来患者延人数	76,539 名	72,405 名	105.7 %
1 日平均	260.3 名	246.3 名	105.6 %
新患者数	13,273 名	12,702 名	104.4 %
入院患者延人数	56,514 名	55,672 名	101.5 %
1 日平均	154.4 名	152.5 名	101.2 %
新入院患者数	1,390 名	1,206 名	115.2 %
退院患者数	1,387 名	1,200 名	115.5 %

【救急搬送数】

二次救急病院の役割を高めるべく積極的な受け入れに取り組んだが、救急応需率目標 72%に対して実績は 71.2%と目標を達成することはできなかった。前年比も応需率-0.7%であったものの、救急搬送患者数は 1,063 名と前年比 261 名の増加であった。

救急搬送診療応需件数

圏 域	要請件数	うち応需件数	応需率
白河広域圏 (内 矢吹町)	1,252 件 (370 件)	922 件 (311 件)	73.6% (84.0%)
須賀川地方広域圏他	232 件	134 件	57.7%
合 計	1,484 件	1,056 件	71.2%

【血液透析センター】

- ・透析患者の延人数目標 10,000 名に対し、実績 10,450 名（前年比 85 名増）
- ・1 日平均透析患者数は 66.8 名（前年比 0.6 名増）
内訳：外来 58.8 名（前年比 2.1 名増）入院 8.0 名（前年比 1.5 名減）
- ・院内新規透析患者 2 名（前年比 5 名減）
- ・他院からの紹介患者 19 名（前年比 4 名増）

【健診センター】

- ・人間ドック延人数目標 1,680 名に対し、実績 1,724 名（前年比 49 名増）
- ・一般健診は延人数目標 6,000 名に対し、実績 6,250 名（前年比 362 名増）
- ・全体人数は延人数目標 7,680 名に対し、実績 7,974 名（前年比 411 名増）
効率よく予約を取得し、健診受診者を増やすことができた。また、人間ドックの増加に努め、目標を達成することができた
健診収入全体では、約 1 千万円の増収となった。

人間ドック及び各種健診・保健指導実績

健診内容	2023 年度	2022 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	7 名	9 名	77.8%
日本病院会指定による一日人間ドック	1,717 名	1,666 名	103.1%
一般事業所健診	5,949 名	5,666 名	105.0%
白河市、西白河郡住民健診	301 名	222 名	135.6%
計	7,974 名	7,563 名	105.4%
特定保健指導（5 事業所）	83 名	124 名	66.9%
産業医訪問事業所数	13 事業所訪問を実施		

① すみれ訪問看護ステーション

看護師 3.2 名、リハビリ 3 名体制で訪問を実施。

目標 1 日平均訪問人数、看護師 12 名・リハビリ 12 名に対し、実績が看護師 9.9 名（前年比 0.7 名減）、リハビリは 10.9 名（前年比 0.1 名増）となった。利用者実人数は目標 100 名/月に対し実績は 92.3 名（前年比 0.7 名減）であった。新規利用者は 5 件/月で目標達成となった。下期はスタッフが 1 名減ったため、訪問スケジュールを見直し効率よく訪問してきたが、訪問件数減となった。

近年は介護者が高齢化してきており、自宅での介護が困難となり施設入所となるケース、また持病以外の新たな疾患の発症に伴い入院となり自宅への退院ができなくなったケースなど、新規利用者以上に終了する利用者が増え、実績増には至らなかった。

【実績】

	2023 年度	2022 年度	前年比
延利用者数	6,130 名	6,321 名	97.0%
1 日平均利用者数	20.7 名	21.4 名	96.7%

② すみれ介護相談センター

ケアマネージャー4名体制で事業を実施。

目標月平均利用者数 128 名に対し、実績が 130.9 名（前年比 1.7 名増）新規利用者は 61 名（前年比 6 名増）、終了利用者数は 58 名（前年比 8 名増）であった。目標人数を達成し、新規利用者も毎月獲得できた。

今後も病院や地域と連携し利用者増に努めていく。

【実績】

	2023 年度	2022 年度	前年比
延利用者数	1,571 名	1,550 名	101.4%
1 ヶ月平均利用者数	130.9 名	129.2 名	101.3%

③ 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

医師 3.7 名、看護師 0.5 名体制で事業を実施。

目標訪問利用者数を 50 名/月とし開始した。実績は月平均 54.3 名（前年比 0.8 件減）で月平均新規利用者は 3.2 名（前年比 0.7 名増）であった。担当医師が 4 名から 3 名に減り、担当看護師も変更となったが、目標達成となった。利用者の状態変化により臨時訪問も随時行ってきた。

【実績】

	2023 年度	2022 年度	前年比
延利用者数	651 名	661 名	98.5%
1 ヶ月平均利用者数	54.3 名	55.1 名	98.7%

④ 会田通所リハビリテーション

介護職 10 名、リハビリ 8 名体制にて事業を実施。

目標 1 日利用者数を 36.7 名（1 日コース 30.6 名、短時間 6.1 名）とし開始した。実績は 35.2 名（1 日コース 28.2 名、短時間 7.0 名）であった。月平均新規利用は 4.4 名（前年比 1.7 名減）、終了利用者数 4.9 名（前年比 0.7 名減）であった。1 日コース、短時間ともに目標を達成することができなかった。

今後も新規利用者を増やすことを課題として他事業所との連携を強化していく。

【実績】

	2023 年度	2022 年度	前年比
延利用者数	10,374 名	10,916 名	95.0%
1 日平均利用者数	35.2 名	37.0 名	95.1%

4. 重要な契約に関する事項

当事業年度において

(1) 重要な工事の発注契約

・ 変電設備改修工事 18,700,000 円

5. 役員会等に関する事項

2023 年度の定例理事会・評議員会等は、次の通り開催した。

(1) 理事会

○ 定期

- ① 開催日 2023 年 5 月 26 日 (金)
- ② 開催場所 会田病院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 2022 年度決算報告承認の件
 - 第 3 号議案 定時評議員会招集の件
 - 第 4 号議案 任期満了に伴う理事選任案承認の件
 - 第 5 号議案 退任理事に対する退職手当支給の件

○ 定期

- ① 開催日 2024 年 3 月 22 日 (金)
- ② 開催場所 会田病院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2024 年度事業計画案承認の件
 - 第 2 号議案 2024 年度収支予算案承認の件
 - 第 3 号議案 2024 年度借入限度額案承認の件
 - 第 4 号議案 2023 年度特定資産取得計画案承認の件

(2) 評議員会

○ 定期

- | | |
|--------|----------------------------|
| ① 開催日 | 2023年6月16日(金) |
| ② 開催場所 | ベル・クイーンズ須賀川 |
| ③ 議決事項 | 第1号議案 2022年度事業報告承認の件 |
| | 第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告承認の件 |
| | 第3号議案 任期満了に伴う理事選任の件 |
| | 第4号議案 退任理事に対する退職手当支給の件 |

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

○ 2022年度 監事監査

- | | |
|--------|---------------|
| ① 開催日 | 2023年5月15日(月) |
| ② 開催場所 | 会田病院 3階講義室 |
| ③ 内容 | 業務監査、会計監査など |

(4) その他

常勤理事による常任理事会を偶数月の第4金曜日に開催した。

6. その他公益事業報告

(ア) 育英事業

奨学金交付状況

○ 2023年度の奨学生は、次の通りである。

- | | |
|------------------------|----|
| ・ 国際医療看護福祉大学校 看護学科通信課程 | 4名 |
| ・ 那須看護専門学校 | 1名 |

(イ) 公衆衛生協力事業

○ 社会福祉法人へ診療協力を実施した。

- | |
|--|
| ・ 社会福祉法人 恵愛福祉会 特別養護老人ホーム 寿光園 |
| ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 大信 聖・虹の郷 |
| ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 表郷 聖・オリーブの郷 |

○ 矢吹町内小中高等学校6校、幼稚園・保育園5施設の内科健診、眼科健診、耳鼻科健診を実施した。

- 献血事業協力のため 福島県赤十字血液センター及び矢吹町と協議し、年に2回献血協力を実施した。

実施日 2023年10月27日(金) 12名参加
2024年3月6日(水) 8名参加

(ウ) 研究研修事業

医療従事者等の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

- ・ 西白河地方地域医療連携学寄附講座 1件 23,865,000円
- ・ 関連各種学会へ事業援助 5件 2,800,000円
- ・ 関連大学へ研究助成 4件 1,900,000円

○ 教育研修事業 (階層別研修を含む) (人事関係)

開催日	研修名	参加人数
2023年10月2日	中途採用者オリエンテーション	4名
2024年3月31日	中途採用者オリエンテーション	2名

○ 救急医療研修

開催日	研修内容	参加人数
2024年1月6日	日本救急医学会認定 「ICLS (蘇生トレーニング) 研修」	3名
2024年1月20日	日本救急医学会認定 「ICLS (蘇生トレーニング) 研修」	4名

○ 医療安全

医療安全院内企画研修

開催日	研修内容	参加人数
2023年7月11日～ 7月31日	「2022年度 ヒヤリハット・インシ デント報告書からの振り返り」	300名
2024年2月15日～ 3月17日	「転倒転落事故防止への取り組み」	277名

医療安全研修（院外）

開催日		研修名	参加人数
2023年	8月4日	身体抑制をしない看護	4名
	9月28日	医療安全管理者交流会 「対話推進者の役割の理解と協働」	1名
	11月9日	新人のための医療安全	3名
	11月24日	転倒転落事故による障害ゼロに向けた 取り組み	3名
	12月1日	チームで成果を上げる医療安全	4名
2024年	1月6日	「転倒転落予防対策」 「転倒転落事故の法的責任」	1名
	1月11日	リスクマネジメントに対する看護記録	1名
	2月15日	令和5年度 県南地域医療安全研修	2名
	3月19日	令和5年度 県南地域医療安全 ネットワーク会議	2名

○ 感染対策

ICS（感染制御スタッフ）4名（平成21年、25年、28年、令和4年 取得）

月1回の感染対策委員会、感染リンク部会、週1回感染対策チーム（ICT）で感染に対する指導、教育を行った。また、白河厚生総合病院での合同カンファレンスに年4回参加した。医師、臨床検査技師、薬剤師、看護師の4名が参加し、感染情報の共有に努めた。特に COVID-19 に関してはスムーズに連携をとることができた。なお、2024年には感染管理認定看護師取得を目指し、1名が研修中である。

感染対策研修

開催日	研修内容	参加人数
2023年 7月11日～ 8月10日	eラーニング視聴 「学びなおしの標準予防策 (スタンダードプリコーション)」	305名
2024年 2月14日～ 3月12日	eラーニング視聴 感染経路別予防策をおさらい！ ～「もしも」に備えるアウトブレイク対策～	274名

○ 消防署救急医療実習受入状況

実 習 内 容	人 数
白河地方広域市町村圏消防本部 救急救命士資格取得後就業前の病院研修	11名

○ 看護学生等の実習受入状況

職 種	学 校 名	人 数
看護学生	白河厚生総合病院附属高等看護学院	7名
	国際医療看護福祉大学	2名
薬学生	奥羽大学	1名
	医療創生大学	1名
リハビリテーション学生	国際医療看護福祉大学	1名
	仙台青葉学院短期大学	1名
	山形医療技術専門学校	4名
	郡山健康科学専門学校	3名
	医療創生大学	1名
	新潟医療福祉大学	2名
	国際医療福祉大学	7名
認定看護師	福島県立医科大学	2名
	公益財団法人星総合病院 高度専門教育センター	1名

7. 設備改修工事等報告

- 2023年度に実施した工事は、以下の通りである。
- ・変電設備改修工事
 - ・患者用トイレ扉設置工事
 - ・小型貫流ボイラー更新
 - ・井戸メンテナンス更新工事
 - ・栄養科空調改修工事
 - ・MRI棟屋上防水修繕工事
 - ・エレベーター修繕工事

8. 労使関係報告

- 2023年4月1日付けで施行の以下の規則に関する改定を行った。
- ・就業規則（パートタイム）
 - ・給与規程
 - ・旅費規程
 - ・会田征彦育英奨学金貸付規程（新設）

9. 庶務事項報告

○ 2023年度の外部団体並びに当法人からの職員に対する表彰は、次の通りである。

- ・ 2023年度 内閣府
秋の叙勲 瑞宝双光章 1名
- ・ 2023年度 矢吹町商工会
優良従業員表彰 2名
- ・ 2023年度 永年勤続者表彰式（当法人）
永年勤続表彰 40年 1名
永年勤続表彰 30年 1名
永年勤続表彰 20年 1名
永年勤続表彰 10年 14名

10. その他報告

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 2023年 4月 3日 | 新入職員入社式並びに辞令交付式 |
| 5月 12日 | 看護の日イベント開催 |
| 6月 19日 | 喫煙予防教室（矢吹中学校） |
| 6月 28日 | 職場体験（矢吹小学校） |
| 6月 29日 | 職場体験（中島中学校） |
| 7月 26日 | 高校生1日看護体験 |
| 9月 4日 | 自衛消防訓練 |
| 9月 12日 | 職場体験（矢吹中学校） |
| 10月 5日 | 職場体験（光南高等学校） |
| 10月 16日 | 県南保健所立入調査 |
| 10月 23日 | 秋季総合自衛消防訓練 |
| 10月 27日 | 生活保護法による指定医療機関に対する指導 |
| 11月 7日 | 公益財団立入検査 |
| 11月 8日 | 介護の日イベント |
| 12月 16日 | 西白河地方地域医療連携学寄附講座開設に伴う病院機能報告 |
| 12月 22日 | クリスマスプレゼント配布（各病棟・通所リハビリ） |
| 2024年 1月 4日 | 新年会・永年勤続表彰式 |
| 1月 23日 | 東北厚生局適時調査 |
| 2月 3日 | 高次脳機能障害 家族・患者サロン |
| 3月 9日 | 会田征彦氏瑞宝双光章受章祝賀会 |
| 3月 18日 | 防災訓練 |